

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立ての  
ほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

■ 実施日 2021年3月29日(月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
R637 1	PGE-MUM 〔CLEIA〕 4Z150-0000-001-052	部分尿 2.0	AOO (X)	冷蔵 (21日)	2~8		CLEIA	濃度 (ng/mL) 換算値 ( $\mu$ g/gCr)	午前中尿をご 提出ください。

今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

項目コード	項目名	受託中止日
3857 3	PGE-MUM	2021年 7月 1日(木) ご依頼分をもって受託中止



## ● PGE-MUM〔CLEIA〕

「認定検査試薬※」制度において、初めて確認を受けた試薬を用いた検査項目です。

Prostaglandin E2 (PGE2) は、シクロオキシゲナーゼによって産生される炎症の促進や抑制に関わる主要なメディエーターであり、その濃度は生体の炎症を反映します。血中へ放出されたPGE2は速やかに代謝されるため、血中PGE2濃度の測定は困難ですが、尿中に排出される主要代謝産物であるProstaglandin E-major urinary metabolite (PGE-MUM) は血中PGE2よりも安定していることから、尿中PGE-MUMは全身的なPGE2産生量の指標になると考えられています。

近年では、尿中PGE-MUMと、潰瘍性大腸炎および間質性肺炎（慢性肺線維症）との関連が報告されています。

### ※認定検査試薬

分析学的妥当性と製造工程の品質について、登録認証機関が確認した研究用試薬で、業界団体が研究用試薬の品質を確保する目的として2017年に制度化されました。

体外診断薬としての審査期間中でも研究用試薬として使用することができ、臨床上有用なより多くの情報を早期に得ることが可能となります。

### ▼疾患との関連

潰瘍性大腸炎  
間質性肺炎

### ▼関連する主な検査項目

カルプロテクチン  
NUDT15遺伝子codon 139多型解析  
ロイシンリッチ $\alpha$ 2グリコプロテイン (LRG)  
肺サーファクタントプロテインA (SP-A)  
肺サーファクタントプロテインD (SP-D)  
KL-6

### ▼検査要項

検査項目名	PGE-MUM〔CLEIA〕
項目コード	R637 1
検体量	部分尿 2.0 mL
容器	A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	2~8 日
検査方法	CLEIA
基準値 (単位)	濃度 (ng/mL) 換算値 ( $\mu$ g/gCr)
検査実施料	
判断料	
備考	午前中尿をご提出ください。

### 研究検査

当社の通常受託項目とは異なり研究を目的とした検査であるため、基準値ならびに臨床的意義が明確にならない項目もございますので、内容をご理解のうえご依頼いただきますようお願い申し上げます。

### ●参考文献

森山 和重, 他 : 医学と薬学77 (3) : 393~401, 2020. (検査方法参考文献)

Yoshinori Arai et al : Inflammatory Bowel Diseases 20 (7) : 1208~1216, 2014.

(臨床的意義参考文献)